

EFA アジアのリーダーを目指すハイテム

研究開発・製造両面・品質管理は日本本社、製造は自社天津工場

ハイテム(安田勝彦社長)は、岐阜県各務原市テクノプラザ10号に今年で創業53年を迎えた。製造委託から自社工場での製造体制に移行して17年目となる中国・天津の自社工場と、EFA (Egg Farm Automation) ジャパンのリーダーを目指すハイテムトータルソリューションを取材した。

ハイテム自社工場

ハイテムは、世界人口の約6割を占めるアジア市場を見据え、中国国際工場を構築している。天津はトヨタ自動車の中国主力生産拠点としても知られる。



自社工場がある天津ハイテクパーク



鋼板供給を担うコイルセンター

アルミ10%含有亜鉛ドブ漬け線材「ハイテム ケージ専用スーパードブ線材」を使用し、自社工場に製造している。

MADE by HYTEM

機、クリーンでスリッパ・トラブルフリーの除糞機、ネズミや害獣の完全シャットアウトを図るペルコシキッター・省エネ兼脱臭加工ケージ内に新鮮な微風フリーズを作り出すエコフリーズ駆動部などの機械類は、ハイテム本社の製造両面と指針材料に基づいて、主力協工場4社が部品

を製造し、ハイテム自社工場に組み立てが進む。品質管理の徹底と人件費上昇対策の一環として、自社工場・協力工場ともロボットの導入など自動化を積極的に推進している。品質管理の要となるAMZ鋼板(アルミマグネシウム・亜鉛合金マグネシウム)は、日本の鋼材専門商社メタルワン天津コイルセンターを中心に安定調達を図っている。ケージの溶接強度や受け入れ部品の検査は、ハイテム本社が定める品質管理基準に基づき、自社工場に厳格に実施する姿勢を貫いている。



ケージフロア自動製造ライン



間仕切りなどのケージパーツを製造する溶接ロボット Ideal社(独)設備



組み立ては週間単位で進み、翌週出荷される



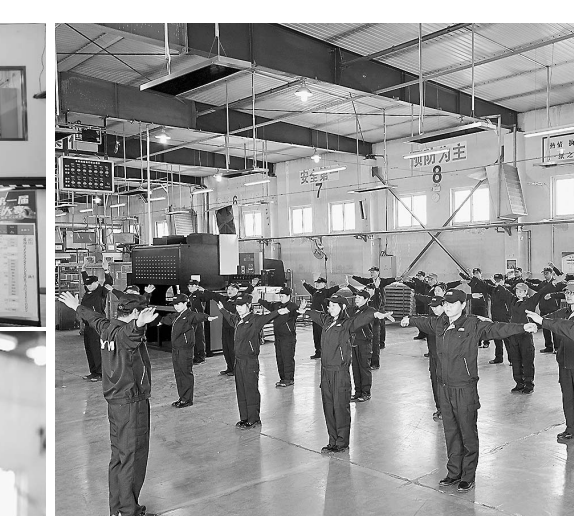
鋼板コイルをセットすれば製品が無人で生産される日本製最新鋼板フォーミング設備 ハイテムと協力工場の共同投資 フレーム関係部品製造に活躍



ベンダー加工設備ほかに鋼材を供給するロボット



多能工を目指す業務スキル競技大会



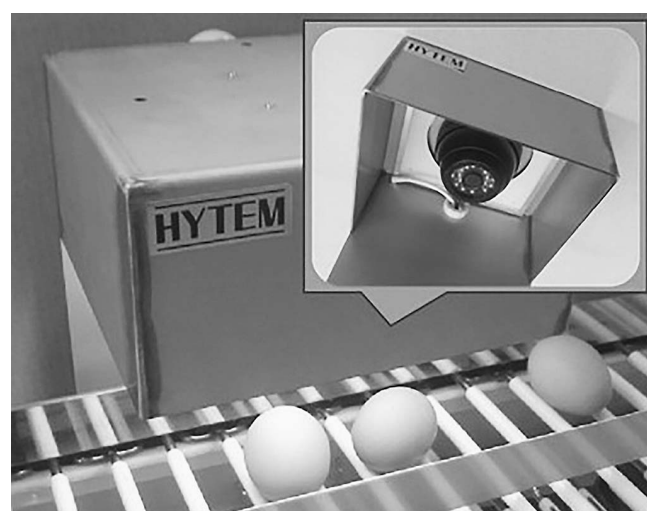
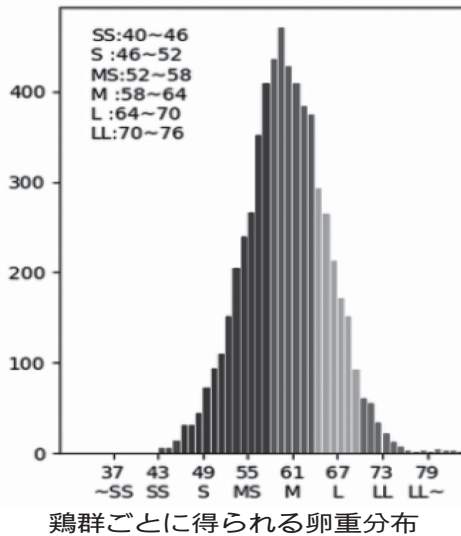
日本のラジオ体操と朝礼で1日の日程が始まる



春節には盛大なパーティー 本社からは数名が交代で参加



今年4月の会議での集合写真



A | 搭載新開発製品 ハイテム卵重チェッカー

ハイテム本社工場

ハイテム本社では、自社工場に製造されるすべての部品に関する製造図面や製造指示書の作成、研究開発を進めている。このため、本社に製造設備はないものの、正式名称は「本社工場」となっている。

高性能・高品質設備でタマゴ生産を支える

ハイテムは、50年以上にわたるEFAの技術蓄積と実績を背景に、『養鶏第2の利益』(設備導入後20年以上にわたる破卵率、電気代、飼料代などのランニングコスト差による収益確保)を支えるサポート型技術営業を両輪に展開している。日本市場では高いシェアを確立するとともに、市場規模が日本の約20倍に及ぶアジア市場では、

ハイテム本社では、自社工場に関する製造図面や製造指示書の作成、研究開発を進めている。このため、本社に製造設備はないものの、正式名称は「本社工場」となっている。

ハイテムは、50年以上にわたるEFAの技術蓄積と実績を背景に、『養鶏第2の利益』(設備導入後20年以上にわたる破卵率、電気代、飼料代などのランニングコスト差による収益確保)を支えるサポート型技術営業を両輪に展開している。日本市場では高いシェアを確立するとともに、市場規模が日本の約20倍に及ぶアジア市場では、



ハイテム本社の設計チーム



本社内の稼働展示センター 主要設備の稼働状況を詳細に確認



国内納入例



海外納入例 中国・上海地区

安田社長が1972年に創業したハイテムは、社会必須食品のタマゴ生産を支えるEFAを軸に、新卒採用を中心とした次世代形成に力を入れ、「燃える技術集団」の社風を大切にした永続企業を目指している。このため、創業家からの定員を男女各一名に限定し、社員一人ひとりの活躍を重視している。

設備選定が生む 養鶏第2の利益 増加試算

10万羽ベース 20年間試算	70 百万円	60 百万円	56 百万円	50 百万円
破卵率 2%差 エレベータ GC シリーズ	700 円/羽			
養鶏電気代の差 エコシリーズ		600 円/羽		
要求率 2%差 ・ネズミフリー ・Pプラス 10月-3月室内温度 4℃高			560 円/羽	
耐久性 5年差				500 円/羽

ハイテム選定による利益増加

2.3 億円
2,300 円/羽

タマゴの需要は30年後も健在、養鶏第2の利益の基盤... 電子部品産業等の投資環境とは異なる

レイヤー設備 (EFA) 選定 収益力を強化する 発注2分論 が必須

- 1 価格優先発注 来月からでも変更できる諸資材等の発注
- 2 性能・品質 / 養鶏第2の利益 優先発注 一旦購入すれば20年以上変更できない設備の発注

